

三五一一番

青嶺あをねろに たなびく雲くもの いさよひに 物ものをそ思おも
ふ 年としのこのころ

三五一二番

一嶺ひとねろに 言いはるものから 青嶺あをねろに いさよふ
雲くもの 寄よそり妻つまはも

三五一三番

夕ゆふされば み山やまを去さらぬ 布雲たのぐもの あぜか絶たえむ
と 言いひし見ころはも

三五一四番

高たかき嶺ねに 雲くもの付つくのす 我われさへに 君きみに付つきな
な 高嶺たかねと思もひて